

外環の計画のたたき台説明会

開催日	平成13年5月29日(火)	開始時間 19:05 終了時間 21:04
会場名	杉並区立桃井第四小学校	
出席者人数	住民側 約300人 行政側 国土交通省 関東地方整備局 川崎国道工事事務所 笹森事務所長、伊藤調査第一課長 東京都 都市計画局 成田外かく環状道路担当部長、石橋外かく環状道路担当課長	
配布物	たたき台パンフレット、説明会コメントカード、お知らせ用紙	
議事次第	1.開会 2.説明者紹介 3.挨拶 4.説明(スライド) 5.補足説明 6.質疑応答	

議 事 録

: 質問 : 意見 : 回答

男性(杉並区善福寺3丁目):

地上部の利用について詳しく説明して欲しい
地上部の利用に関しては、たたき台のパンフレットにいくつか例を掲載している。
今後は、地上部の利用について意見を伺い、地元とも協議をしながら、利用方法を決めていきたい。

男性(杉並区善福寺1丁目):

善福寺の風致地区はいつのまにか小さくなってしまい、さらにこの地域に大道路を通すことについて説明して欲しい。
青梅街道にインターチェンジを作る場合、その南側の開削区間は長すぎるのではないか。もし整備するのであれば、シールド工法で整備してほしい。
風致地区指定されている良好な地区の環境に配慮し、今回、外環計画を高架構造から地下構造に変更するためのたたき台を提示した。
今後、たたき台を基に、周辺環境に配慮した道路を造っていきたいと考えている。
道路の構造上、青梅街道にインターチェンジを整備する場合は、お示ししている程度の開削区間が必要となる。
なお、各インターチェンジの設置については、今後、意見を伺った後、検討を行う予定である。

男性(杉並区今川4丁目):

青梅街道にインターチェンジができた場合の渋滞、排気ガスの問題についてどの程度調べているのか、具体的に説明して欲しい。
青梅街道沿いには豊富な地下水があると思われるが、外環整備による地下水の影響について説明してほしい。
インターチェンジへの自動車の集中に関しては、接続道路とどのような交通のやりとりがあるかを計算し、対応策を考えて考えていきたい。
排気ガスに関する具体的な影響については、今後現地調査を実施し、どれくらい影響があるのかを評価し、その結果を公表していきたい。
地下水に対する影響については、今後現地調査を実施して状況を把握し対策を検討する。

男性(杉並区善福寺1丁目):

計画自体に反対である。
外環を使って原子力関係など危険物質を輸送しない保証をしてほしい。
貴重なご意見として承る

女性:(杉並区善福寺2丁目)

扇大臣は話し合いの場を設ける考えを示した一方、行政は、建設へ向けての作業をどんどん進めてい

る。たたき台も大臣発言以前に配っている。このような動きは、住民に対する大臣の考えと違うようだが、大臣とは連絡がとれているのか。

大臣の包括的な指示に基づいてこのような説明会を実施しており、大臣発言の通り、一度原点に立ち戻って必要性から議論していく。また、たたき台は地下構造の場合のイメージを知っていただくものである。なお、今後どういう会ができるかを含めて話し合いの場・議論する場を提案していきたい。

男性（杉並区善福寺3丁目）:

この説明会の機会を設けられたことについては高く評価する。

立ち退きが行われる者にとって、35年間は大変に苦しかった。

予算はどれくらいか。

予算上の制約や大臣、知事の交代を理由に計画を覆すことはやめてほしい。

整備する場合、いつまでに実行するのかを明確にしてほしい。

予算は、千葉外環の地下部を例にとると、1kmにつき約1,000億円程度と考えられるが、具体的に設計や施工計画をたてなければ明らかにならない

整備時期については、まだ計画案作成前のため確実なことは言えない。

一般的なスケジュールとしては、法定手続きに入ったとして高架から地下構造に変更する手続きに、環境アセスメントも含めて3～4年、工事に入って、完成まで10年くらいかかる。

その他、貴重なご意見として承る

男性（杉並区善福寺4丁目）:

インターチェンジ設置の有無はどのように決めるのかを提示してほしい。

インターチェンジ設置については、地域の意向を尊重する。ただし、地元のみでなくインターチェンジを利用できる範囲の方の意見も聞いていくつもりである。決め方については、様々な意見を聞いた後に検討していく。

男性（杉並区善福寺2丁目）:

原点とは何か。

詳細なたたき台を出して欲しい。

抽象的な言葉ばかりでなく、もっと必要性について具体的に示して欲しい。

原点とは、計画の必要性から議論を始めることだと認識している。

詳細な図面の公表については、要望も多いため、早急に作成し、公表していきたい。

必要性の内容については、今後、データをそろえ公表し、議論をしていくつもりである。

男性（杉並区善福寺1丁目）:

外環を環8の下に通すということできないか。

現計画ルートに固執しすぎではないか。シールドを上下2段にするなど、環状8号線地下ルートを検討する余地はある。

標準幅員25mの環状8号線の地下に、幅員約40mの外環を整備することは物理的に不可能であり、環状8号線の拡幅は沿道に堅牢建物の数が多く、現実的でない。また、ジャンクションやインターチェンジを整備するためのまとまった土地の確保も困難であるため、こうした点から、現在のルートを基本に検討していきたい。

シールドを二層に配置するのは、地上の一般道や高速道路とのつながりを考えると現実的でない。

さらに、環状8号線沿線は高層、堅牢建物が多く、沿道利用も進んでいるため、拡幅等が困難である。一方、現計画ルートには建築制限がかけられており堅牢建物が少ない。

男性（杉並区善福寺2丁目）:

原点に戻るのなら、ルート変更の検討をしたらどうか。

ルートに関しては、都市計画決定以来の私権制限や周辺の土地利用等を考慮し、基本的には現都市計画決定ルートで考えていきたい。

男性（杉並区善福寺1丁目）:

国、行政、地元の住民にとってどれだけの経済効果があるのかが原点ではないか。

「もう一度ゼロから考えましょう」というのが原点だと思うがそのような説明が全くない。

貴重なご意見として承る

原点とは、必要性についての議論を行うことであり、今後、費用対効果も含めてデータを示しつつ議論する予定である。

男性（練馬区上石神井）:

排気ガスの影響を現状より悪くしないで欲しい。

計画が具体化した段階で、環境アセスメントを実施し、環境基準が遵守できるよう努力する。

男性（杉並区善福寺2丁目）:

排気ガスについて具体的な説明をして欲しかったが、あいまいな回答ばかりで、今までと変わらないという印象をもった。

地下水の問題がでるのがわかっていたらから具体的な説明を聞きたかった。

渋滞解消について、必ずしも道路を作ることだけでなく、必要性の有無から検討して欲しい。

貴重なご意見として承る

男性（杉並区善福寺3丁目）:

インターチェンジは必要か、減らすことなどを検討できないか。

インターチェンジ設置の有無は今後議論する。また、インターチェンジの必要性や設置の有無は、連絡道路の混雑や住民の移転、利便性の向上等総合的に考える。

男性（杉並区上井草4丁目）:

住民の意見を尊重して、住民投票することで、次回のたたき台はやって欲しい。

貴重なご意見として承る

男性（杉並区善福寺2丁目）:

計画（構造）の変更には、都市計画審議会の変更決議が必要なのか

開削方式にするのかシールド方式にするのかが、決まっているのかいないのか。

外環整備を進めることについて、国土交通相または総理の決断があったのか

開削方式・シールド方式にするということだが、実際に行った場所があるのか。千葉の方は1,000億円/kmというが、これは高架方式ではなかったか。開削・シールド方式にした場合、どれくらいお金がかかるのか。

都市計画手続きに入れば、都市計画案を作成し、都市計画審議会で審議を行い決定することになる。

開削、シールドどちらかに関しては、まだ決まっていない。今後、検討する。

たたき台は扇大臣にも見せた上で公表している。

千葉外環は地下構造の掘割方式で整備を行っている。事業費はそれと、ほぼ同程度と考えている。

男性（杉並区善福寺）:

シールド工法の場合の地上部の利用方法はどうか考えているのか。従来住んでいる人の住宅はどうなるのか。

シールド区間の地上部は、買収する方法と地上権を設定する方法があり、これは地上部の利用方法と関係している。

利用方法を決めた上で相談していきたい。